
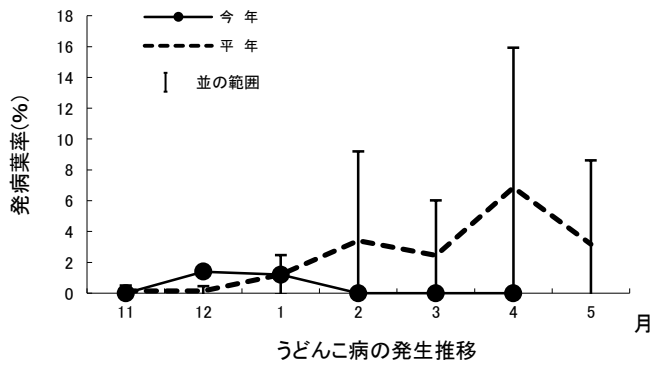



作物	とうがん	地域	宮古群島
病害虫名	① うどんこ病		
4月の発生量(現況)	(発生なし)並		
5月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、4月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

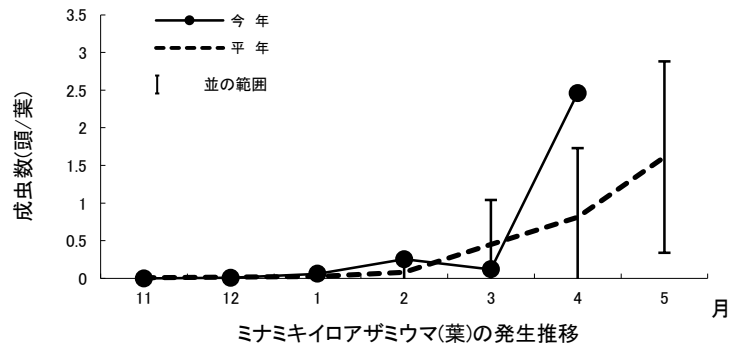


防除のポイント

- ・ 発生源となる不用な老葉・下葉を除去し、透光通風をよくする。
- ・ 除去した葉はほ場内に放置せず、ビニール袋等に入れるなどして持ち出し処分する。
- ・ 薬剤防除は予防散布に重点をおく。


作物	とうがん	地域	宮古群島
病害虫名	② ミナミキイロアザミウマ		
4月の発生量(現況)	やや多		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫数の平年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

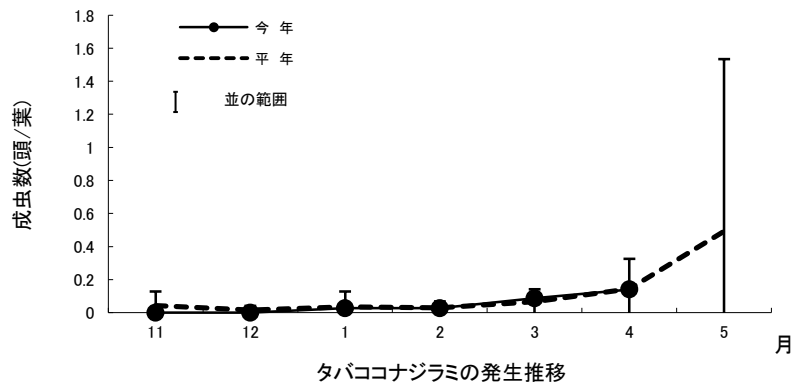


防除のポイント

- ・ ほ場周辺の雑草は発生源になるので除草を行う。
- ・ 多発すると防除が困難になるので、つる先を観察し早期防除に努める。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統の連用を避ける。


作物	とうがん	地域	宮古群島
病害虫名	③ タバココナジラミ		
4月の発生量(現況)	並		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫数の平年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



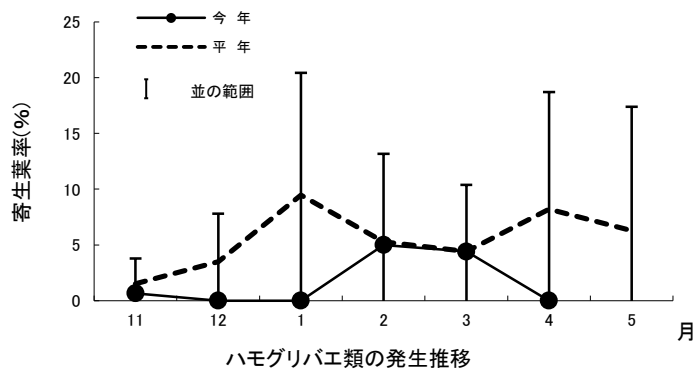
防除のポイント

- ・ ほ場周辺の雑草は発生源になるので除草を行う。
- ・ 多発すると防除が困難になるので、葉裏を観察し早期防除に努める。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統の連用を避ける。

作物	とうがん	地域	宮古群島
病害虫名	④ ハモグリバエ類		
4月の発生量（現況）	(発生なし)並		
5月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、4月と同程度の発生量と考えられる。		


発生量の根拠（調査結果）

(今年のデータ)

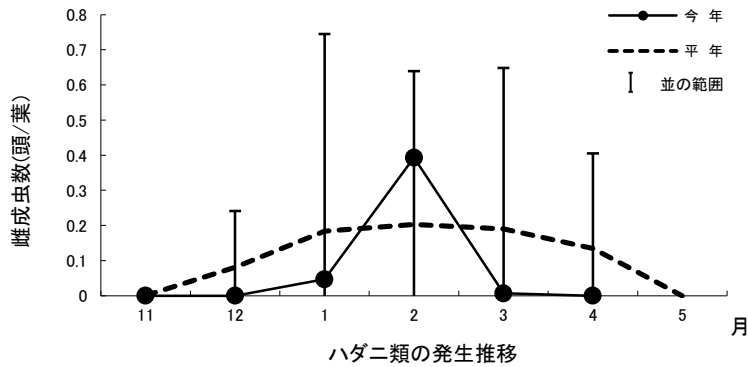


防除のポイント

- ・ 本種の寄生痕から病害が侵入する可能性があるため、発生初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場周辺の雑草は本種の発生源になるので除去する。

作物	とうがん	地域	宮古群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
4月の発生量(現況)	(発生なし)並		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より高い見通しから、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



防除のポイント

薬剤抵抗性を発達させやすいため、同系統の薬剤の連用を避ける。